

# 07 自然

満開のブルーベリー畑、美しい朝日、満天の星、  
静寂に響きわたる虫や鳥の声…おとぎ話?  
いいえ、これは中尾さんが体験した大崎上島での、まるで天国のような物語。  
人も動物も島も生きている。

虫、鳥、島の  
いのちを  
実感!

## ○ カッコいいポイント 天国を体験した!?

「今はホタルが出る川沿いの家に住んでいますが、一生、絶対に忘れられない家に出会ったのもこの島でした」と中尾さん。あらゆる生きものがいのちを輝かせる場所、それが島なのだ。

## ○ カッコいいポイント ほがらかな味わいの HOGALAKA パン

HOGALAKA パンは、やわらかいのにしっかりとした食感で、噛むほどに小麦の香りが。柑橘類など島で採れた素材を使ったものもあり大人気。中尾さんの職人としてのこだわりが詰まっている。



ふれあい工房 HOGALAKA

中尾 円さん

NAKAO MADOKA

## DATA

- ・年齢…30代  ・性別…♀
- ・出没ポイント…大崎エリア
- ・大切なひととき…大串港の海沿いに寝転がって、波の音を聞きながら星空を見る時間

自分の  
場でつくる  
手描きのPOP

## ○ カッコいいポイント つくり手の思いが みんなを笑顔に

小さいのちも愛でる中尾さんのやさしさでふっくらと焼き上がるパンの数々。「安心・安全・健康」をテーマに開発した商品は島のみんなをおいしい笑顔にしてしまう。まるで魔法のパンだ。



## いのちの活動、季節の移ろいを感じる島暮らし

パンは小麦粉に水などを加えて火を通して作られる。発酵させるために必要なのは酵母、小さな小さなのちである。島で暮らす中尾さんが島の植物や自然に心を奪われ続けているのは、パン職人という職業柄、いのちに対する感受性が高いからではないだろうか。中尾さんは東京都の出身。東京から神戸に移りパン屋さんで働いていたところ、パンに使うブルーベリーを取り寄せていた大崎上島の神峯

園さんから誘われたのが、島を訪れるきっかけだった。「島に来て最初にビックリしたことは満開に咲くブルーベリーの花でした。た一っくさんの小さな花が目の前に広がっていて…感動して言葉を失いましたね」と中尾さんは振り返る。「美しい朝日、満点の星空、初夏には島中がみかんの花でいっぱいになる。日々を過ごしながらそういった季節の移ろい、いのちの活動を感じられるのがいいですね」。

## ワークショップ参加者のコメント

- ・とってもアクティブな方だと思いました。和太鼓奏者とセッションしたり、船に乗せてもらって釣りをしたり、ブルーベリーの栽培の手伝いまで。すごい!
- ・コレと決めたことを実行できる、またそのための探究心の強さがカッコいい!有言実行の方です。
- ・流れに身をまかせながら、その中で楽しみや喜びを見つけるポジティブなお人柄が印象的でした。

お年寄りが楽しそうに活躍している。  
大崎かみじまん

# 08 島育

大崎上島で「理想の家族！」と評判の村山家。  
3世代同居ならでは、島ならではの子育てをしているのが自慢だ。  
自分で釣ってきたイカを手際良くさばく小学生が育つ家族、  
村山さんはその主である。

やっぱり  
ここ(仕事場)が  
一番落ち着く

## ○ カッコいいポイント お孫さんの特技がスゴい

孫の芽生ちゃんは、自分で釣ってきたイカを自分でさばくことができる、まさに大崎上島っ子！島ならではの教育で生きる力を育んでいる。

## ○ カッコいいポイント 親子で石材加工職人

息子さんと一緒に石材加工の工場を営んでいる。多くの言葉を交わさなくとも阿吽の呼吸で作業に集中できるのは、親子職人ならでは。



歴史を感じる  
道具たち

## ○ カッコいいポイント 石材加工へのこだわり

家族を大切にしながら、石材加工というお仕事にまっすぐ取り組んでいるのも理想の家族と言われる理由。専用機器が並ぶ工場で石と対話するように作業する姿がカッコいい！



村山石材  
村山忠行さん  
MURAYAMA TADAYUKI

## DATA

- ・年齢…70代
- ・性別…♂
- ・出没ポイント…東野エリア
- ・最近のニュース…猪が海を泳ぐのを見た
- ・私の自慢…島の半分ぐらいの人のことを知っている



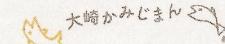
## 理想の家族の“島育”は生きる力を育む

墓石の加工から設置、管理まで行う村山石材。ここで出会った村山さんは島のちょっとした有名人だ。というのも村山家は島の人たちから「理想の家族！」と評判だから。しかし、3世代が同居しているだけでは理想の家族とは言えないだろう。実は、小学6年生のお孫さんのある特技が村山家ならでは、島ならでは、と注目されているのである。小学6年生の芽生ちゃんの特技とはなんと、自分でイカを釣ってきて、それを自分でさばくこと！イカを

さばくのにはちょっとしたコツがあり、大人でも難しいことかもしれない。それをいとも簡単にやってのける小学生が育つ家…まさに“島育”である。石材加工の専用機器が並ぶ工場で「私にとって落ち着く場所といえばここだけ、一番大切に思っているのはやっぱり家族ですね」と村山さん。家族への愛と島ならではの教育は芽生ちゃんの生きる力につながっている。

## ワークショップ参加者のコメント

- ・丁寧で確かな事が評判の方。もの静かな雰囲気にも職人さんらしさを感じました。
- ・休日も「仕事場が一番落ち着く」とのこと。まさに職人さん！
- ・寡黙で昭和の男って印象の村山さん、話をみると、すごく優しい人だと思った。



神峰山からは115の島が見えるらしい。

09

# 手作り

ご近所同士、仲間が集まって何やら騒いでいる。手作りの看板には「いも会」の文字。扉を開けると、子どものように目をキラキラと輝かせながら手作りで人生を楽しみ尽くす大人たちの姿があった。

## ○ カッコいいポイント

### 集会所を手作り!

いも会の集会所はすべてが手作り。ガラスやサッシ、照明器具もすべて廃材を利用したので、全部形が違う。バラバラなのに落ち着く空間、これは集まる人がみんな笑顔だから?



## ○ カッコいいポイント

### 道具も手作り!

もともとボランティアで教育農園を開放したのが「いも会」の始まり。集まった仲間の結束は固く、グラウンドゴルフにいたっては、道具を作るプロセスさえも手作りで楽しんでいる。



壁には  
思い出の写真が  
たくさん

楽しいよ～、  
人生がっ!!

## ○ カッコいいポイント

### アイデアも手作り!

ふれあいサロンの参加費のため野菜を売るのも、現在の「いも会」の活動のひとつ。「集まれば何か楽しいことができる!」と信じ合う。人生を楽しみ尽くす姿がカッコいい!



いも会(とりまとめ役)

平本道子さん

HIRAMOTO MICHIKO

## DATA

- ・年齢…ひみつ♡ ・性別…♀
- ・出没ポイント…沖浦エリア
- ・元気の秘訣…似たもの同士が集まって楽しむこと。ストレスとは無縁です!



## アイデアや遊び、その道具、部室まで自分で作る

人生をとことん楽しみ尽くす人たちの集まり「いも会」。とりまとめ役の平本さんは「ボランティアで植えたさつまいもを、幼稚園児たちのいも堀り体験に提供したのが始まり。ご近所同士で仲が良かったから、じゃあみんなが集まる集会所を作ろうか、ということになったんです」と話す。ガラスやサッシ、照明器具など、廃材を利用して造った小屋は、いつも笑い声が聞こえる部室のような場所に

なった。「今はね、メンバーで旅行したり、船を出して魚釣りをしたり、忘年会もやりましたよ。あ、グラウンドゴルフはね、道具も自分たちで作っちゃった」と笑う平本さん。部室や道具だけではない、ふれあいサロンの参加費のために野菜を売るなど、アイデアさえも仲間と作る。「集まれば何かができる、楽しいことが起こると思っています。本当にね、楽しいよ～、人生がっ!」。

## ワークショップ参加者のコメント

- ・お会いするといつも元気をもらいます。あの元気とパワーはすごい!!
- ・何でも作る、何でも楽しむ姿勢がイイ!
- ・楽しすぎてどうしようもない感じが印象に残りました。人生がハッピーってとっても素晴らしいんですね。



昼食に帰宅する人が多いらしい。